



## あくていぶ21 矢野 仁志 議員

- 1 電子黒板について
- 2 鈴鹿シティマラソンについて

**質問1** 電子黒板が各小学校に導入されたが、有効活用されているか。活用を図るための具体的な取組みは。小中学校全ての教職員に1人1台の校務用パソコンを市費で整備すべきではないか。

**答弁1** 導入した学校で使い方に差が大きい実態があるため、電子黒板活用事例集を各校に配布した。教職員に1人1台のパソコンを設置するには、多額の経費が予想され難しい。教育用パソコンや更新機器を有効に活用するなど、工夫を図りたい。

**質問2** 市制70周年に合わせて記念大会として開催

してはどうか。経済効果はどうか。今後、より地域経済の活性化を図るための企画・運営についてどのように考えているのか。

**答弁2** 平成24年は市制70周年を迎え、鈴鹿シティマラソンも、第15回目となることから、記念大会と位置付けている。鈴鹿シティマラソン実行委員会での意見では、シティセールスを意識したイベントの開催を検討いただいている。経済効果は、具体的には把握はしていないが、昨年の大会においては、約1億8千万円の経済効果はあったと推測する。F1日本グランプリのコースを走れる市民マラソン大会を全国に発信することや、マラソンスポーツの普及を図ること、市民や参加者の健康づくりについて考えることを基本に今後も展開したい。



## あくていぶ21 森 喜代造 議員

- 1 農地の耕作放棄地について
- 2 国指定天然記念物について
- 3 高齢者について

**質問1** 検討委員会の設置と今後の取組みについて。

**答弁1** 本年3月に21名の構成員で「鈴鹿市耕作放棄地対策有識者検討委員会」を設置した。茶園の放棄地を活用した紅茶づくりや果樹や茶園のオーナー制度を考えている。不法投棄防止の看板設置や、農地パトロールで耕作放棄地を防ぐ取組みをしている。またふれあい農園の開設や人材の育成等に取り組みたい。

**質問2(1)** 金生水沼沢植物群落の取組みについて。

**答弁2(1)** 平成15年度から環境改善に取り組む、学習会も2回実施し130名が参加した。

**質問2(2)** 保護増殖事業推進委員会はどのようなもので今後どのようにしていくのか。

**答弁2(2)** 金生水に生育する希少植物の増殖を進め保護管理を効率的に行い、ボラ組織の拡充を図る。

**質問2(3)** 今年度と今後の取組みについて。

**答弁2(3)** 今年度は観察路を設置し、来年度からは開花時期に合わせて観察会を実施する。入場制限を設け、1回に20名を予定している。

**質問3** 100才以上の調査と今後の取組みは。

**答弁3** 施設や病院及び自宅訪問で49名全員の所在を確認した。本人と連絡が取れない場合は、職権で住民票を削除し住民基本台帳と居住実態との整合を図りたい。又、今年度は90才以上100才未満の1,700名を調査し、結果を踏まえ順次年齢を拡大していく。



## 市政研究会 水谷 進 議員

- 1 神戸中学校について
  - (1) 通学路の安全について
- 2 熱中症対策について
  - (1) 高齢者への対応について
  - (2) 学校での対応について
- 3 平和問題について
  - (1) 「非核平和都市宣言」について

**質問1(1)** 神戸中学校西側の信号機の設置と、十宮地内の安全対策はどうなっているのか。

**答弁1(1)** 信号機の設置については、決定をしているが工事にはもう少し時間がかかると県より連絡を受けている。また、十宮地内の安全対策については、分散登校の指導の他、教職員をはじめPTAや地域の方々の

協力を得て登校指導を行っている。

**質問2(1)** 高齢者世帯などへの対応はどうか。

**答弁2(1)** 民生委員を始め、各種団体の方々に日常적인見守りをお願いし大きな力となって頂いている。

**質問2(2)** 学校での対応はどうか。また、五感だけに頼らず「熱中症計」を各校に設置をしたらどうか。

**答弁2(2)** 校長会において予防や発生時での応急処置など具体的に指導している。また、「熱中症計」の導入については今後検討を行う。

**質問3(1)** 鈴鹿市は「非核平和都市宣言」をして25年目を迎えたが市長の今の思いは何か。

**答弁3(1)** 恒久平和を願った「宣言」は誇りうる事であり、核兵器廃絶と世界平和が今以上に進むことを願い、地道に着実な取組みを継続する必要がある。